

保育理念(事業運営方針)		神様の愛の中で、一人ひとりの子どもの個性を大切に、家庭や地域の人々と協力し合って、心と体が健康な子どもを育成します。				
保育目標		○神様を愛する子ども ○人を愛する子ども ○土(自然)を愛する子ども			情報公開等	ホームページ・苦情処理
2019年度 総主題 人々を愛し神に仕える子ども	<1期> 成長する生活	○大きくなったことを神に感謝する ○からだを大切にすることを知る ○交わりのルールを知る ○助け合うことを知る			地域への参加	公民館祭りへの絵画の出版
	<2期> 活動する生活	○働くことの喜びを知る ○責任感を育てる ○表現力を養う ○キリストの降誕を祝う			自己評価等	保育園・保育士の評価
	<3期> 創造する生活	○個性をつくる ○つくり出す喜びを知る ○最後までやりとおす			特色ある保育	キリスト教保育

保育方針	○安全で安定した環境の中で楽しく活動します。	健康支援状態把握・増進・疾病対応	・園児の定期的な発育測定/健康診断(嘱託医による)・職員の健康診断(年1回)及び検便(毎月)・手洗い/歯磨き指導
	○一人ひとりの自由と個性を受容し、個人差に配慮した保育を行います。	食育の推進	・栄養バランスを考えた自園給食の提供・給食だよりの発行
	○キリスト教精神に基づき善悪を判断出来る、心が健康な子どもを育てます。	環境及び衛生管理並びに安全管理	・設備用具の清掃/消毒・安全管理及び自主点検 ・感染症予防・インフルエンザ対応 等
	○戸外遊びなどを通して体を動かして遊ぶことの楽しさを体験し、丈夫な体を育てます。	災害への備え	・避難・消火訓練(毎月)・消防設備点検(年2回)
	○地域の人々や教会の人々など様々な人との関わりを通して、人を思いやる優しい心を育みます。	子育て支援	・子育て講座(年3回)・園庭開放・子育て相談
	○音楽や言葉への興味・関心を意欲的に持ち、豊かな心、創造性、話を聞く姿勢を養います。	職員の質の向上	・内部研修の実施・外部研修への参加
	○国際時代に生きる子どもたちに必要な、感性豊かな人間を育てます。 ○地域から信頼される保育園をめざし、積極的に子育て支援を行います。		

教育及び保育の基本/目標	保育の方法	社会的責任	子育て支援	地域との連携	小学校との連携(接続)
児童福祉法(昭和22年法律第146号)第39条に基づき保育を必要とする子どもの保育を養護と教育を一体的に行うことでその健全な心身の発達を図る。幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を目標として、環境を通じての教育により3つの資質・能力の育成に努める。	0～5歳児まで、各1クラスずつで保育を行う。キリスト教保育に基づき、それぞれのクラスでの活動や全体的な活動を通じて、集団における活動を効果あるものにするよう援助するとともに、一人ひとりの発達過程や個性を大切に保育する。	子どもの人権に十分に配慮し、子どもの人格を尊重し保育を行う。地域社会との交流や連携を図り、保育の内容を適切、わかりやすく応答的な説明をする。個人情報適切に取り扱う。保護者の苦情解決を図るよう努める。	保育所の特性を生かし、保育園を利用している保護者や地域の保護者に対して、地域の実情を踏まえ、個々の状況に配慮した子育て支援を行う。	地域の子どもを巡る諸問題に対し、地域の関係機関や人々と積極的な連携及び協働を図る。	保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通じて、創造的な思考や主体的な生活態度の基礎を培う。小学校との情報交換や交流の機会を持ち、保育園での保育と小学校教育との円滑な接続に努める。就学に際しては、子どもの育ちを支えるための資料を保育園から小学校へ送付する。

保育目標	0歳児	生理的欲求を満たし生活リズムをつかむ	3歳児	身近な仲間や自然等の環境と積極的に関わり、意欲を持って活動する	主な行事 イースター/保護者会総会・懇談会/母の日/内科検診/春の遠足/家庭訪問/歯科検診/花の日/クッキー作り/父の日/お店屋さんごっこ/年長合宿保育/納涼のタベ/運動会/秋の遠足/収穫感謝祭/クリスマス/個人面談/おわかれ会/会食/年長プラネタリウム見学/誕生会/避難訓練
	1歳児	行動範囲を広げ探索活動を盛んにする	4歳児	信頼感を深め、仲間とともに感情豊かな表現をする	
	2歳児	象徴機能や想像力を広げながら集団行動に参加する	5歳児	集団生活の中で自立的・意欲的に活動し、体験を積み重ねる	

養護 (保育士が行う事項)	年齢	乳児	1歳児(満1才より)	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	小学校以上との連携に艦みて
	生命の保持	●生理的欲求の充実を図る	●生活リズムの形成を促す	●適度な運動と休息の充実	●健康的生活習慣の形成	●運動と休息のバランスと調和を図る	●健康・安全への意識の向上	育みたい資質・能力は小学校以上の個別の「知識や技能」「思考力・判断力・表現力等」につながるものである。また、この資質・能力を実現するためにアクティブ・ラーニングを用いる。
	情緒の安定	●応答的な触れ合い ●情緒的な絆の形成	●温かなやりとりによる心の安定	●自我の育ちへの受容と共感	●主体性の育成	●自己肯定感の確立と他者の受容	●心身の調和と安定により自信を持つ	

教育 (子どもが環境に関わって経験する事項)	(乳児) 3つの視点	乳児	(満1～3歳未満) 5領域	1歳児 (満1歳より)	2歳児	(満3～5歳児) 5領域	3歳児	4歳児	5歳児
	健やかに伸び伸びと育つ	・身体機能の発達 ・食事睡眠等の生活リズムの感覚の芽生え	健康	・歩行の確立による行動範囲の拡大	・排泄の確立 ・運動・指先の機能の発達	健康	・意欲的な活動 ・基本的生活習慣の確立	・健康への関心 ・身体全体の協応運動	・健康増進とさらなる挑戦への意欲
	身近な人と気持ちを通じ合う	・特定の大人との深い関わりによる愛着心の芽生え ・喃語の育みと応答による言葉の芽生え	人間関係	・周囲の人への興味・関心の広がり	・自己主張の表出 ・友達との関わりが増大	人間関係	・道徳性の芽生えと並行遊びの充実	・仲間との深いつながり	・社会性の確立と自立心の育成
	身近なものとの関わり感性が育つ	・身近なものとの関わり感性が育つ ・身体の諸感覚による表現	環境	・好奇心を高める	・自然事象への積極的な関わり	環境	・身近な環境への積極的な関わり	・社会事象への関心の高まり	・社会、自然事象へのさらなる関心と生活への取り入れ
		言語	・言葉の獲得 ・話しはじめ	・言葉のやりとりの楽しさ	言語	・言葉の美しさ楽しさへの気づき ・生活の中での必要な言葉の理解と使用	・伝える力、聞く力の獲得 ・ECCへの参加	・文字や数字の獲得による遊びの発展 ・ECCへの参加	
		表現	・いろいろな素材を楽しむ	・象徴機能の発達とイメージの膨らみ	表現	・自由な表現と豊かな感性の育ち	・豊かな感性による表現	・ダイナミックな表現 ・感動の共有	